

9月20日(水) 18時45分～21時15分

十月社会主義革命はなにを目指したか

——その教訓を現代にどう活かすか

講師＝鎌倉孝夫（埼玉大学名誉教授）

聞き手＝山下勇男（社会主義理論研究）

HOWSリーフレットの予告に「世界の人民はいま『未来と目標』を喪失した危機的状況に置かれている。わが国ではその状況がはなはだしい。ロシア十月社会主義革命の勝利から100周年の記念すべき今年、社会主義革命がめざしたものを、そして実現したものを再確認する」と書かれている。

今回の講座は、聞き手であるわたし（山下）が受講生を代表して質問を発し講師である鎌倉さんが答えるという、これまでとは異なる形式で進めることになっている。

鎌倉さんには、2016年度後期講座で「現代の帝国主義——『帝国主義論』100年、その現代的意義」と題して報告してもらった。そのなかで「帝国主義戦争をやめさせたロシア社会主義革命——1917年2月革命から10月社会主義革命実現におけ

るレーニンの指導」「権力獲得、成功の根拠、克服すべき問題（課題）」について、かなりの時間を割いて話されたと記憶している。聞き手としては、鎌倉さんのその際の発言を反芻することから始め、敗北の総括を含む社会主義建設の歴史的経験や、社会主義の立場を堅持して闘う現存する社会主義国の評価などについても、踏み込んだ話を聞くことができればと思っている。

本講座に参加されるみなさんが2人の対話に割って入り、積極的に疑問をぶつけ、意見を述べることを心から歓迎する。

【追記】 聞き手の質問趣意書を用意しました。事前に目を通しておきたい方はHOWS事務局まで。

【山下勇男】

9月2日(土) 13時～16時30分

映画『母』（1926年・ソ連 87分 監督：フセヴォロド・プドフキン） 上映と討論

解説＝立野正裕（元明治大学教員）